

県議会ナビ

02



山形市立商業高等学校



白鷹高等専修学校

目次

- 県議会ってどんなところ? - p.1
- 議長インタビュー - p.1
- 県議会の活動トピック - p.2
- 選挙管理委員会よりお知らせ - p.2
- 生徒・学生の皆さんと意見交換会を開催 - p.3

県議会ナビとは?

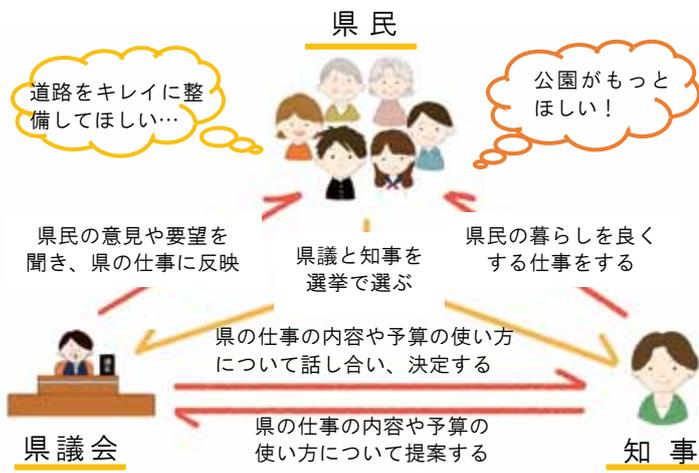
県議会では、若い皆さんに県議会に関心をもってもらうため、平成28年度から年1回、県議会を紹介する広報紙を発行しています。



山形電波工業高等学校



羽黒高等学校



県議会ってどんなところ？

県議会は、県民の代表として選挙で選ばれた県議会議員が、山形県をより良くするために必要なことを話し合い、山形県の将来を決めるところです。

県議会で決まったことを実行するのが、同じく選挙によって選ばれる知事です。

志田県議会議長に山大学生が突撃インタビュー！

県議事にインターンシップに来た山形大学生が、日ごろ疑問に思っていることなどを議長に突撃取材してみました！
どんなお話が聞けたのでしょうか…？

Q 議会がある時以外は、どのような活動をされていますか？

A 例えば、自分の気になったテーマの調査や、地域の団体などからの要望を聞いて、その実現に向けて県と意見交換をしたり、また、制度改革が必要な時は関係省庁と意見交換などを行っています。

Q 私達はどうしても県議事を遠いものと考えてしまっています。なぜ若者の政治離れが進んでいると思いますか？

A 今の社会では、政治に関わらなくても生きていくことが原因の一つだと思います。ただ、家族を持つなど、社会と関わる機会を持つようになれば、政治を身近に感じることもできると思いますね。

Q 私達の要望が伝わりやすければ、身近に感じられると思うのですが、伝えるにはどのような手段がありますか？

A 組織化されていない層、例えば、子育てママ層や学生層など、そういった人達の議会まで伝わってこない要望、いわゆる「声なき声」をどのようにすくい上げたらいかが考えています。



こちらが志田 英紀 山形県議会議長

私達も常につながりを持ちたいと思っていますので、会って話す機会が作れたらいいなと思います。県議会議員のホームページには、議員のメールアドレスが載っているものもありますから、あまり身構えずに、メールを送ってみるのも手段の一つです。

志田議長へのインタビューの様子。みんな真剣！



Q 学生から、「交通機関を増やしてほしい」という要望があります。

A 山形は車社会で、バスや電車に乗る人が少ないからね。乗る人が多ければ、もっと増やすこともできると思います。そのような状況の中で、皆さんの要望と、交通機関側の事情の折り合いをつける必要があります。それに加えて、過疎地域や高齢者が多い地域はバスなどの交通機関がないと生活するのが難しい。そうした地域にどうしても先に目が向いてしまいます。若い人達には色々な行動の手段がありますから、しかし、自転車で行動するには安全性を確保しきれていないところもあります。そういった様々な問題について、お互いに意見を出し合いながら考えていきたいですね。

Q 最後に、若者へメッセージをお願いします！

A 政治は身近であるべきものだと考えています。「身近なものだよ」ということをどうやって受け入れてもらえるだろう、ということを中心に考えます。でも、私達だけが「身近なものだよ」と

言い続けてもあまり変わらないので、皆さんからも、一歩踏み出さなくても、半歩だけでもいいから政治に近づいて来てほしいと思っています。

インタビューを無事に終えた山形大学生。感想を聞いてみました！

Q インタビューお疲れ様でした！実際に議長とお話してみてもうでしたか？

A 学生が議長に対して意見を言うことができるとは思っていませんでした。しかし、議長のお話を伺う中で気付いたのは、議会が身近なものであり、議長や議員の方々が私達の意見を待っているということです。すぐには実感がわかないと思いますが、こちらから歩み寄ってみると、意外と身近なものだと感じることもできるかもしれません。



志田議長にインタビューし、記事を作成したインターンシップの山形大学の皆さん
左から順に、小竹 豊さん、志田 英紀 議長、鈴木 ちひろさん、佐藤 諒さん

県議会の活動 トピック

県には、様々な分野で取り組まなければならない課題がたくさんあります。県議会では、そうした課題に的確に対応し、県民の皆さんの意見や要望を県政に反映させるためには、知事に対して政策を提言したり、条例を提案したりすることが、より一層重要になると考え、積極的に取り組んでいます。

また、県民の皆さんに県議会を身近に感じてもらい、県議会に対する理解を深めてもらうための取組みも行っています。

知事への政策提言

県議会では、平成13年度に全国の都道府県議会で初めて、知事に対して政策提言を行いました。

県民の皆さんの意見などを踏まえて、議員間で十分に議論し、毎年県の発展に必要な施策をとりまとめて、「山形県議会政策提言」として知事に提言しています。



知事に政策提言を手渡す
野川政文 前議長（平成29年3月）



全議員で政策提言案を協議
している様子

議員提案による条例の制定

県の決まりである「条例」は、知事だけでなく、県議会議員も提案することができます。これまで、県民の皆さんの暮らしをより良くするために、議員によって提案された条例（政策条例）は6つあります。

平成28年度には、「山形県誰もががんと知り、県民みんなががんの克服を目指す条例」（平成28年12月）と「山形県手話言語条例」（平成29年3月）の2つが議員提案によって制定されました。



議員が県立中央病院を調査する様子



条例成立を喜ぶ、ろう者の
皆さんと議員

議場演奏会と議会見学会の開催

県民の皆さんに県議会に来てもらい、県議会を身近に感じてもらうために、皆さんに親しまれる演奏会と議場の見学、会議の傍聴を併せて実施しました。（平成28年9月、29年10月）

参加された皆さんは県議会に来たのは初めてという方が多く、「県議会を身近に感じられて良かった」、「また傍聴に来たい」、「こういった機会があれば、選挙への関心も高くなると思う」といった感想が寄せられました。



演奏会の様子



議場見学の様子

選挙管理委員会よりお知らせ

住民票を移そう！

選挙で投票するためには、引き続き3か月以上住民基本台帳に登録され、選挙人名簿に登録されていることが必要となります。

住民票を異動していないと現住所地での投票ができないため、住民票は実態に合わせて現住所地に異動してください。

そもそも投票ってどうやるの？ ～ 選挙啓発出前講座の取組み ～

選挙管理委員会では、学校などに出向いて出前講座を行っています。出前講座では、選挙の講義と、本物と同じ素材の投票用紙と本物の投票箱等を使った模擬投票を行います。

問合せは各市町村選挙管理委員会、または山形県選挙管理委員会（☎023-630-2082）まで！



選挙のめいすい
（明推）くん

県議会では、高校生や大学生などの若い皆さんに、県議会をもっと身近に感じてもらい、また、政治に関心を持ってもらうきっかけとなるよう、意見交換会を開催しています。

平成29年度は、開催希望のあった、山形電波工業高等学校、山形市立商業高等学校、羽黒高等学校、白鷹高等専修学校の生徒さんと意見交換を行いました。（平成29年9月末時点の開催校です。）

生徒・学生の皆さんと 意見交換会を開催

意見交換会では実際にこんなやりとりがありました！

Q なぜ県議会議員になろうと思ったのですか？

A 私が議員になる前は、女性議員は1人しかいませんでした。県に男女が半々いる中で、女性の声を県のような施策に反映するには、女性議員がもっと必要だという思いがあったからです。



Q 生徒会では、生徒みんなの要望に応えられるよう努力していますが、なかなか上手くいきません。県民の要望をかなえるためにどんな努力をしているのですか？

A 要望があった時に、自分自身も改善したいと思うか、議論しています。生徒会でも、要望を全て受けるのではなく、自分達が改善したいと思うものを選択し、優先順位を決めて取り組むことが必要だと思います。

Q 若者の投票率が低いのは、「誰が当選しても同じ」と思って、政治に興味なくなっているからだと思いますが、どうですか？

A 決して、誰が当選しても同じということはありません。当然、全体的な議論はしますが、議員によって、教育問題に熱心な人もいれば、産業問題、医療問題に熱心な人もいます。自分の考えと反する政策が実行されてしまうこともあります。これから、政治に関心を持ってテレビを見たり、新聞を読んだり、県議会を傍聴したりしてもらえると、「誰が当選しても同じ」という考えは徐々に少なくなると思います。



意見交換会を行っての感想

生徒

- 議員の皆さんと直接話ができ、また、議場など普段は入れない場所にも案内してもらうなど貴重な体験ができて良かったです。
- 議員の皆さんは自分の市町村に自信を持っていて、私も自分の住む町に自信を持とうと強く思いました。18歳になったら、町をより良くしてくれる人を真剣に選び、投票したいです。

先生

- わかりやすく、親しみやすい議員の皆さんの対応に、生徒達も生き生きと発言できました。このような機会が、たくさんの若者の目を開かせてくれると思います。

県議会ホームページもチェックしてみよう！

議会の仕組みや活動状況、議員の紹介のほか、本会議や予算特別委員会の生中継・録画中継など、様々な情報を掲載しています。ぜひ、ご覧ください！



県議会を傍聴してみませんか？

本会議や委員会は公開されており、どなたでも傍聴できます。
当日の簡単な手続きだけで傍聴できますので、皆さんも、ぜひ県議会にお越しください！（問合せ先）☎023-630-2840

県議会ナビの発行に当たっては、分かりやすさ、読みやすさはもちろんのこと、若い方の感性を活かしたデザイン・内容にしたいと考え、山形大学の学生さんに協力していただきました。より多くの若い皆さんに手にとってもらい、県議会や政治に興味を持ってもらえることを嬉しく思います。

（編集）山形県議会広報・^{こうちよう}広聴委員会
（協力）【デザイン】山形大学フリーペーパーサークル「Y-ai！（ヤイ）」
人文学部4年 菅野 智佐さん 農学部 4年 大沼 由佳さん
【議長インタビュー記事】インターンシップ研修生
人文学部3年 佐藤 諒さん 小竹 豊さん 鈴木 ちひろさん



編集後記



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。